

## JASA 近畿支部

# 「交流祭典 2016」開催報告

### ～エンジニア志望の学生と会員企業社員との交流～

10月26日（水）18:00から、昨年に引き続き2回目の開催となる「交流祭典 2016」を開催いたしました。

これはエンジニア志望の学生と、先輩エンジニアである近畿支部会員企業社員との交流を通し、JASA 及び組込みシステム業界を広く知っていただこうと企画したイベントです。



会場は大阪・茶屋町の「カフェ ラ・ボエム」で、参加者はJASA会員が54名、一般参加が7名、学生が46名の合計107名、第1回目である昨年より約30名増えました。

一つのテーブルに学生と会員企業が座るように案内し、交流を図りました。最初は緊張していた学生達も、食事やお酒が進むにつれ会話が弾むようになりました。会員企業からは新入社員を含む若手技術者、採用担当者、経営者と様々な層からの参加があり、会社説明会や面接とはまた異なる話や、現場で働くエンジニアの生の声を学生達に伝えて貰いました。

また、学生から先輩エンジニアへの質問コーナーでは、「仕事をしていて苦

労したこと、やりがいを感じたことは？」「なぜ組込みエンジニアになろうと思ったか？」「エンジニアに必要なスキルは？」「普段の生活はどのように送っている？」等、就職活動や、組込みエンジニアの将来像に関する質問から、「ズバリ！年収は？」等、なかなか鋭い質問もありました。



会の途中には、サンドアートパフォーマーの田村祐子さんによるパフォーマンスで、ストーリー性のある幻想的な作品と音楽で会を盛り上げていただきました。

終了後にお願いしたアンケートによると、学生からは「実際の企業の方から様々な話が聞けて、今後の就職活動の参考になった」「現場の生の声が聞けてよかった」「組込み業界にある様々な会社の雰囲気を知ることができた」「企業が求めているものは何か知ることができてよかった」「社長さんとういう場で話せる機会があり、感謝している」「目先の就活だけでなく、働き始めてからのビジョンをしっかり持つておかなければならないと感じさせられた」等の意見がありました。

また企業の参加者からは「フランクに学生と話せた」「大学、専門学校だけでなくハローワークから来た人もいたので、理系、文系問わず交流できてよかった」「就職活動前の学生の素直な気持ちが聞けて新鮮だった」「学生以外にもJASAの他企業とも新たな交流ができ、有意義だった」「学生の将来像がリアルに聞いた点はよかった」等の意見が寄せられました。

アンケートでは次回以降の開催に参考になる、改善点も含めた貴重な意見や指摘が寄せられましたので、更にJASA及び会員企業を含め組込み業界をPRできるイベントとなるよう、来年度に繋げたいと思います。